

## 2012年度 がん高度実践看護師（APN）セミナー

- 学習目標：1. さまざまな臨床現場で働いているがん看護専門看護師の活動の実際を知る。  
 2. 事例を通して専門看護師の6つの役割機能について理解する。  
 3. がん看護専門看護師の高度な看護実践について学び、自らのサブスペシャリティについて考え、専門性を発展させていく。  
 4. がん高度実践看護師セミナーを通して、自分自身のAPN像を形成していく。

対 象：がん看護学領域修士課程1年  
 日 時：5月～7月のCNSの都合のつく日に3時間  
 場 所：看護学部棟 322演習室

日時	がん看護CNS	内 容
第1回 5/18(金) 18:00～21:00	北添可奈子 氏 高知医療センター がん看護CNS	専門看護師の活動の実際：（コーディネーションの事例） 役割機能
		高度な看護実践：緩和ケアチームにおけるがん看護専門看護師の活動の実際
第2回 6/8(金) 18:00～21:00	宮脇 聡子 氏 四国がんセンター がん看護CNS	大学院での学びと認定までのプロセス
		高度な看護実践：外来におけるがん看護専門看護師の活動の実際～乳がん患者への関わりを通して～
第3回 6/15(金) 18:00～21:00	古郡 夏子 氏 高知赤十字病院 がん看護CNS	専門看護師の活動の実際：（コンサルテーションの事例） 役割機能
		高度な看護実践：がん相談支援センターでのがん看護専門看護師の活動の実際
第4回 6/25(月) 13:00～16:00	弘末 美佐 氏 高知県立大学看護学部 特任助教	専門看護師の活動の実際：（倫理調整機能の事例）役割機能
		高度な看護実践：在宅緩和ケアにおけるがん看護専門看護師の活動の実際
第5回 7/20(金) 18:00～21:00	池田 久乃 氏 高知医療センター がん看護CNS	専門看護師の活動の実際：（教育機能の事例）役割機能
		高度な看護実践：がん化学療法看護におけるがん看護専門看護師の活動の実際
第6回 7/25(水) 18:00～21:00	豊田 邦江 氏 仁生会細木病院 がん看護CNS	専門看護師の活動の実際：（研究機能の事例）役割機能
		高度な看護実践：緩和ケア病棟におけるがん看護専門看護師活動の実際
第7回 7月28日(土) 13:00～16:00	近藤 恵子 氏 九州厚生年金病院 がん看護CNS	専門看護師の活動の実際：（直接ケアの事例）役割機能
		高度な看護実践：フリーポジションで相談を受けるがん看護専門看護師の活動の実際

## 2012年度 がん高度実践看護師セミナーが開講されました

看護学研究科がん看護学領域では、毎年5月～7月にかけて「がん高度実践看護師（APN）セミナーを開催しています。これは、修了生であり、またOCNSである先輩方に、現在OCNSを目指して学ぶ後輩のために‘CNSの役割機能’や‘高度な看護実践’について講義をしてくださるセミナーです。

今年も県内外で活躍している先輩方から貴重なご講義をしていただきました。

先輩方が大学院を修了してから現在に至るまでのプロセスや、OCNSの高度な看護展開を間近で聞き、学生さん達からも「目からウロコ」だったと感想が寄せられています。



### 5/18 第1回 北添可奈子 OCNS（高知医療センター） 緩和ケアチームにおけるがん看護専門看護師の活動の実際

参加した学生さんより～

患者・家族の調整だけでなく、多職種間の調整や地域との連携をしていく中で、それぞれの専門性を認め、専門性を発揮していくことの大切さを感じました。患者の思いをくみとって「こうしてあげたい！」と思ってもかなわない現実や限界がある中で最大のことができるようそれぞれの立場に寄り添っていくという姿勢に心を打たれ、CNSになりたいという思いがさらに強くなる講義でした。



### 6/8 第2回 宮脇聡子 OCNS（四国がんセンター） 大学院での学びと認定プロセス

参加した学生さんより～

大学院では多くのことを学ぶだけではなく、今までの自分自身の看護について振り返る機会と同時に自分自身を見つめなおす機会となることを改めて感じました。そして、認定までの間にも病院で自分の強みを生かせるような組織分析を行い、大学院で学んだ知識を実践での活用をしていくことがCNSとしての活躍の始まりだと感じました。



### 6/15 第3回 古郡夏子 OCNS（高知赤十字病院） がん相談支援センターでのがん看護専門看護師の活動の実際

参加した学生さんより～

コンサルテーションの事例を通して、問題を解決することが目標なのではなく、相談者が今後同じ問題に直面しても対応できるように協力して一緒に問題を解決していくことが大切であるということを知ることができました。相談支援センターでの支援員としての考え方や役割、そしてその大変さが伝わってきました。患者さんや他のスタッフの方々と関わる時のCNSとしての役割や意味をこれからじっくり考えていきたいと思いました。



7/20 第5回 池田久乃 OCNS (高知医療センター)  
がん化学療法看護におけるがん看護専門看護師の活動の実際

参加した学生さんより～

教育するにも一方的にやればいいのかではなく、対象のニーズを把握してどこをターゲットにするか、「誰に・何を・どこまで・いつまでに」伝えるのか、計画立てて行うことの大切さが分かりました。教育するのだから何か一つでも対象者につかんで帰ってもらえるようやりがいがあるが難しいことだなと思うと同時に、今後その機能を活用できるよう訓練が必要だと思いました。



7/25 第6回 豊田邦江 OCNS (仁生会細木病院)  
緩和ケア病棟におけるがん看護専門看護師の活動の実際

参加した学生さんより～

緩和ケア病棟におけるがん看護専門看護師活動の CNS 役割である「研究」を実践の場で機能させていくには、他のリーダーとなるスタッフを巻き込みながら一緒に研究を行い、病院全体の研究の質を向上させ、看護研究全体の質の向上にもつながるといった大きな役割であると感じました。また、スタッフへ研究を教え、そして、育てていくという姿勢が CNS として必要だと改めて感じました。先輩のように協働しながら取り組める関わり方が出来るように勉強していきたいと思いました。



7/28 第7回 近藤恵子 OCNS (九州厚生年金病院)  
フリーポジションで相談を受けるがん看護専門看護師の活動の実際

参加した学生さんより～

活動の実際では、CNS として組織で活動することの大きさを実感しました。組織分析からの的確な問題点と課題の把握と、社会や病院の時代と流れ、状況を活用してうまく改革を行っていくことの模範を見せていただいたような気がしました。実践役割では、看護モデルを活用したアセスメント・介入の実際、3Pを活用しての care と cure を融合させた実践の素晴らしさを学び、高度実践看護師の姿をイメージすることができたように思います。

セミナーを終えて、「先輩の活躍を聴き、この2年間で様々なことを吸収し成長していきたいと思いました」と、多くの学びとやる気を先輩方から受け取ったようです。